

社会科 3年授業案

授業者 横山 慎吾

1 日時・場所 平成28年11月21日(月) 第5時 3年C組教室

2 教科で付けたい力、育てたい生徒

【学習指導要領】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。



社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、社会的な見方や考え方ができる生徒

3 単元構想

(1) 単元名 限られた予算の中で、よりよい掛川市(大須賀地区)の町づくりをしていこう。

(2) 単元を通して付けたい力、育てたい生徒

【学習指導要領】

公民的分野 (3) 私たちと政治 イ 民主政治と政治参加

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識を育てる。(一部抜粋)



住民の一人として地方自治の発展に寄与しようとする意識を高める生徒。

(3) 単元構想図

★単元デザイン □は時数と手立て ○ICTの活用	軸	④ねらい ・引き出したい学習活動の姿
★課題を把握する。 ①限られた予算の中で、掛川市（大須賀地区）の住民はどんな政策を優先させていったらよいか。 ○事前にとったアンケートの結果や考えた条例案を提示する。	掛川市のまちづくりのためにどんな政策が必要だろう。	①既存知識をもとにどのような政策が必要か考えることができる。（社会的な思考） ・既存知識をもとに、課題に対する仮説をたてる姿（社会的な思考）
★解決策と計画を元実践する。 ②エキスパート班をつくり、高齢者、高校生、主婦、男性労働者の4つの立場で9つの項目について優先順にランキングをする ③ジグソー班をつくり、エキスパート班でつくったランキングをもとに、予算や将来のことも考えながらもう一度班でランキングを考えホワイトボードに書き込む。 ○タブレットに、データをいれておき、そのまま資料に気がついたことや意見を書き込ませる。		②タブレット内にあるデジタルワークシートにランキング付けをした結果をまとめる。（資料活用の技能・表現） ③それぞれエキスパート班でたてたランキングの画像を見せながら班員にそう順位づけた理由を説明する。 新しく予算・大須賀地区の年齢別人口の書かれた資料をタブレットに送信する。 ホワイトボードに班で話し合いながら新しくランキングをつくる。（社会的な思考・判断・表現） ・様々な情報の中から、必要な情報だけを選び、まとめる姿（資料活用）。 ・班員の意見（いろいろな立場）や予算、将来性を考えながら、掛川市に本当に必要な政策はなにか考える。（問題解決）
★わかったことを活用して問題を考える。 ④実際に掛川市の予算はどうなっていて、どんな政策が行われてきたのだろうか。		④既習事項を元で考察することができる。（社会的な思考・判断・表現） ・課題に対する自分なりの考えを、いくつかの事象を関連付けてまとめる姿。（問題解決）

4 本時の指導

- (1) 授業名 限られた予算の中で、どのような掛川のまちづくりをしていくか（3／4）
- (2) 本時の目標 複数の資料を分析しランキングをつくる作業を通して、地方自治に興味をもち、掛川市大須賀地区の町づくりに必要な政策を多面的、多角的に考察できる。
（社会的な思考・判断）

(3) 授業過程

	学習内容（☞教師の働きかけ ・生徒の反応、活動）	・留意点 ★評価
つ か む 5 追 究 す る 45	①「大須賀地区に必要だと思うことは何か」というアンケートの結果で上位にきたものを予想してみよう。 ・ららぽーとみたいなショッピングモールがほしい ・もっと公園がほしい。 ②限られた予算の中で、掛川市大須賀地区のまちづくりをどのようにしていくか。 ③エキスパート班（3・4人で8つの集団）になり、資料を参考にしながら、9つの政策を優先順にランキングしよう。 ・A 高齢者（82歳）近くに大きな病院をつくってほしい。 老人ホームを快適にしてほしい。 ・B 高校生（16歳）学校にエアコンをつけてほしい。 ショッピングモールを誘致してほしい。 ・C 主婦（35歳）子ども手当を増やしてほしい。 ゴミ処理場を大きくしてほしい。 ・D 男声労働者（45歳）バスの本数が増えると助かるなあ。 家族の安全のため病院がほしい。 ④デジタルワークシート内にランキングを保存する。	・パワーポイントで今日の授業の流れや、アンケートの結果を提示する。 ・エキスパート班（4グループ）に資料を配付する。タブレットに9つの政策と現状をのせる。 1 バスの本数を増加 2 ショッピングモール誘致 3 公立学校にエアコン配備 4 ゴミ処理施設の建設 5 高齢者介護施設の整備 6 大須賀総合病院の設立 7 大須賀公園の設立 8 子ども手当の配給 9 図書館など多目的公共施設 ・その年代が希望するであろう政策をランキングし、カメラ機能で保存する。ランキングした理由をタブレットに書き込む。
追 究 す る 25 ま と め る 25	⑤ジグソー班（4・5人で6つの小集団）をつくり、各エキスパート班で考えたランキングを発表しよう。その後、予算年齢別人口を考えながらランキングをやりなおし、実際に予算内で行える政策を考えよう。 ・公園の建設は、老人、高校生、主婦が希望しているので優先的に行おうかな。 ・ショッピングモールはみんなから人気だけど、予算がもったいないなあ。 ・学校にエアコンは高校生だけの希望なので我慢させよう。 ⑥クロストークをして、他の班の考えを聞きに行こう。 ⑦実際の掛川市の政策や予算をみて、こうしたほうがよいではないかという意見をワークシートに書こう。 ・掛川市では大須賀と市内へのバスの本数を一日2本から4本にするべきだ。 ・借金が多いのにびっくりだ。	・タブレットの資料を使いエキスパート班で考えたことをジグソー班で説明できるようにする。 ・どうしてそのランキングにしたのか、もめたときにどういう方法で解決させたか、予算内にどこまでおさまっているか、を班ごとに記入させる。 ・移動して他の班を見学に行くメンバーと残って説明をするメンバーにわかれる。 ★限られた予算の中で、住民（エキスパート班）の意見を取り入れながら、多面的・多角的に掛川市大須賀地区のまちづくりについて考えることができたか。（社会的な思考・判断・表現）

大須賀中学校 3年アンケート結果

質問1 自分たちの住んでいる地域でこうしてほしいことは何ですか。(意見の多い順)

- ①ららぽーとのようなショッピングモール、店がほしい
- ②野球ができるような広い公園がほしい
- ③バスの路線や本数を増やしてほしい。とくに掛川方面に行くバス。
- ④近くに通いやすい高校がない。つくってほしい。
- ⑤大きな病院が近くにほしい
- ⑥津波対策の防波堤をつくってほしい。
- ⑦道の街灯を多くしたり広くしたり道の整備をしてほしい。
- ⑧電車の駅や高速道路のインターチェンジがほしい。

質問2 自分たちの住んでいる地域の政治に興味はありますか。

質問3 将来大人になったとき、自分たちの住んでいる地域の政治や活動に参加したいと思いますか。

質問4 自分たちの住んでいる地域は、自分たちの手で変えられると思いますか。

質問項目	ある	どちらかといえばある	あまりない	ない
A組2	1	2	15	13
B組2	2	6	14	10
C組2	3	5	19	7
質問2合計	6	13	48	30
A組3	3	9	14	5
B組3	5	9	11	7
C組3	3	6	20	5
質問3合計	11	24	45	17
A組4	9	3	13	6
B組4	7	8	13	4
C組4	5	10	16	3
質問4合計	21	21	42	13